

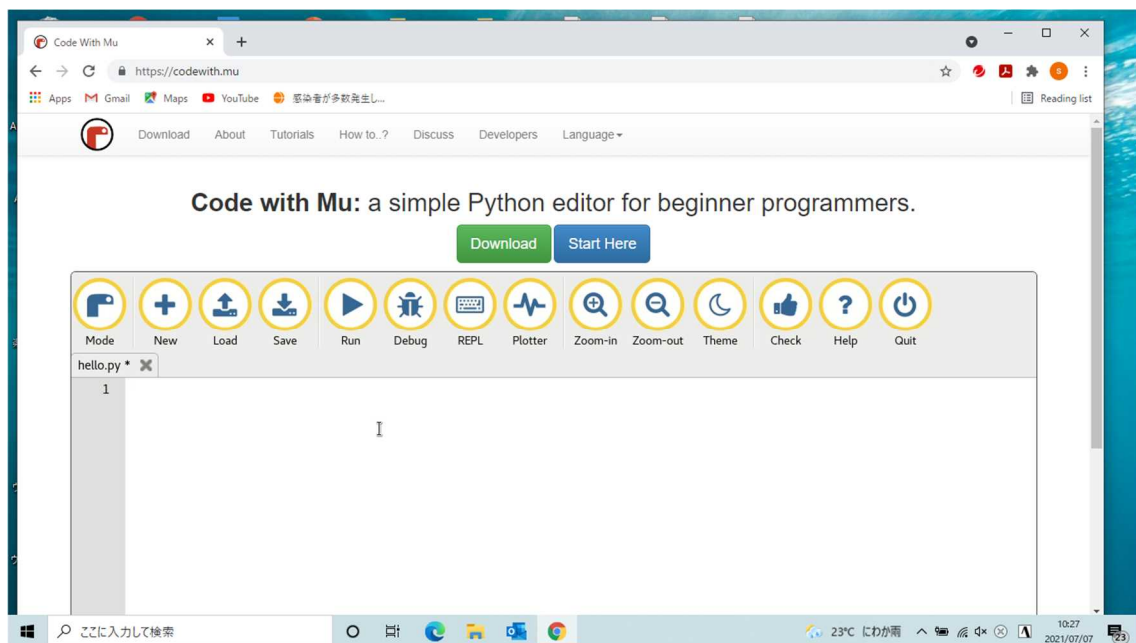
エディタ Mu のインストールと micro:bit の使い方

PC（ウインドウズ）に接続して使うことを考えます。エディタは Mu、言語は Python とします。必要なものは micro:bit、PC、USB ケーブル(Atype-Micro(B)type)です。

(Micro:bit 用アクリルケース、スイッチ付き電池ケース（単 3 × 2 用）、PH コネクタ 2P、単 3 電池 2 個があるとよいかもしれません）

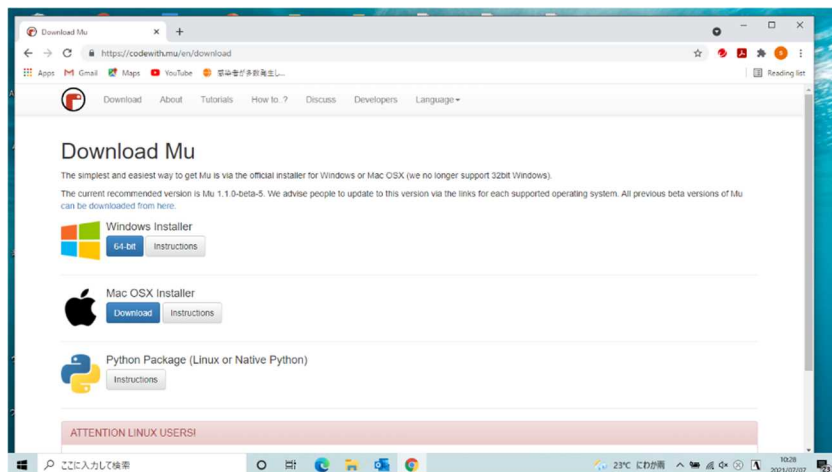
1. エディタ Mu のインストール

<https://codewith.mu> へインターネットでアクセスしてください。下記の画面が出ると思います。

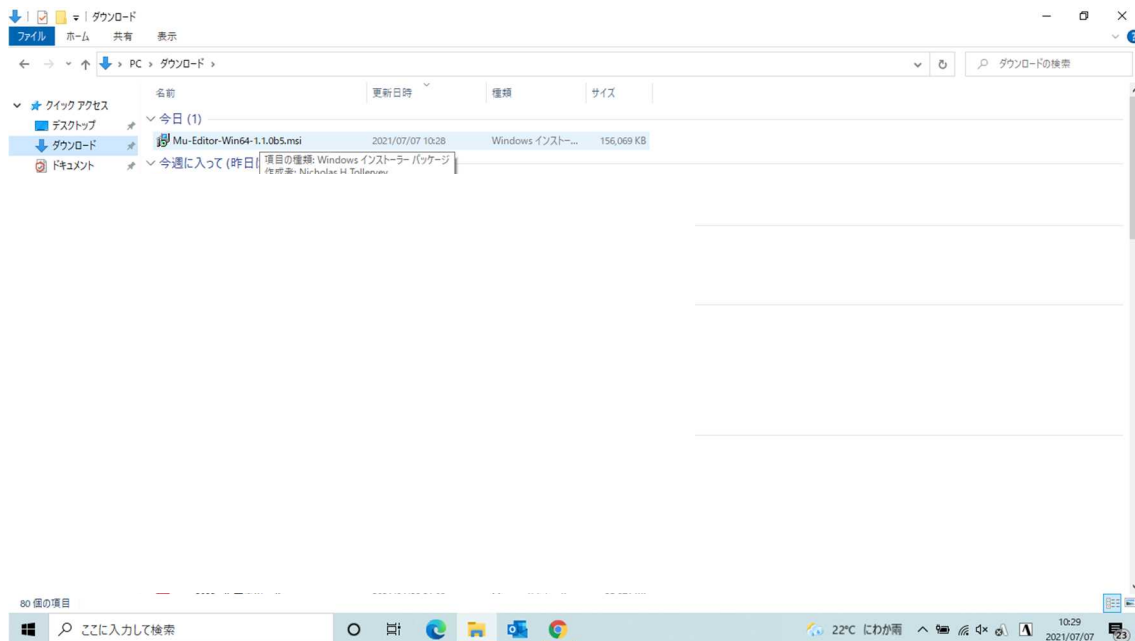


次に、Download ボタンをクリックしてください。下記の画面が表示されます。

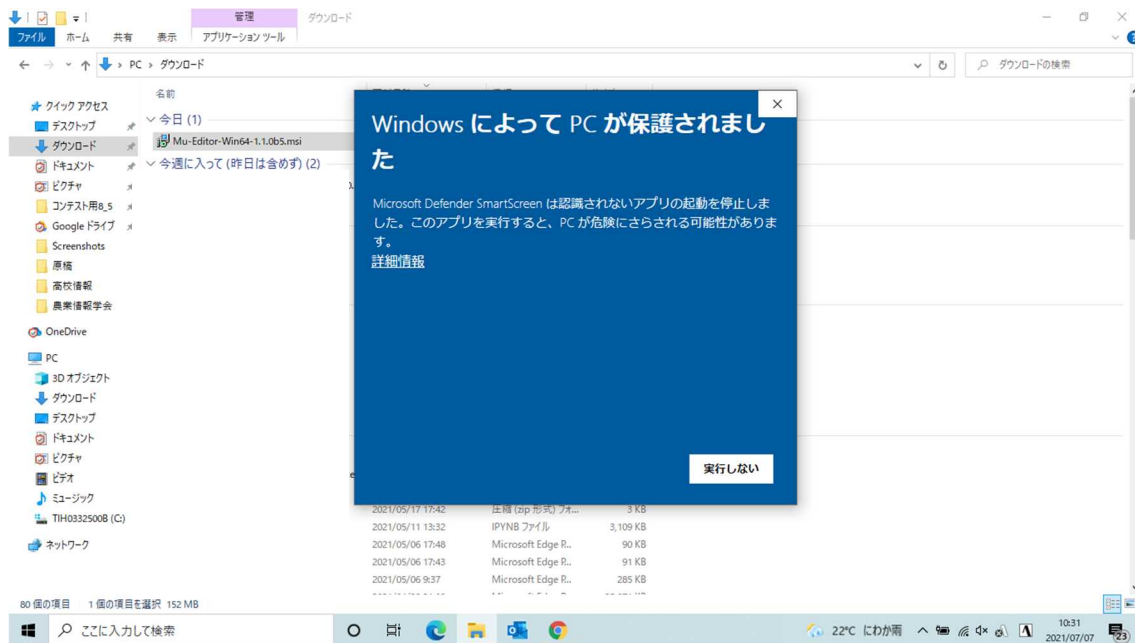
次に、windows Installer の 64-bit のボタンをクリックしてください。



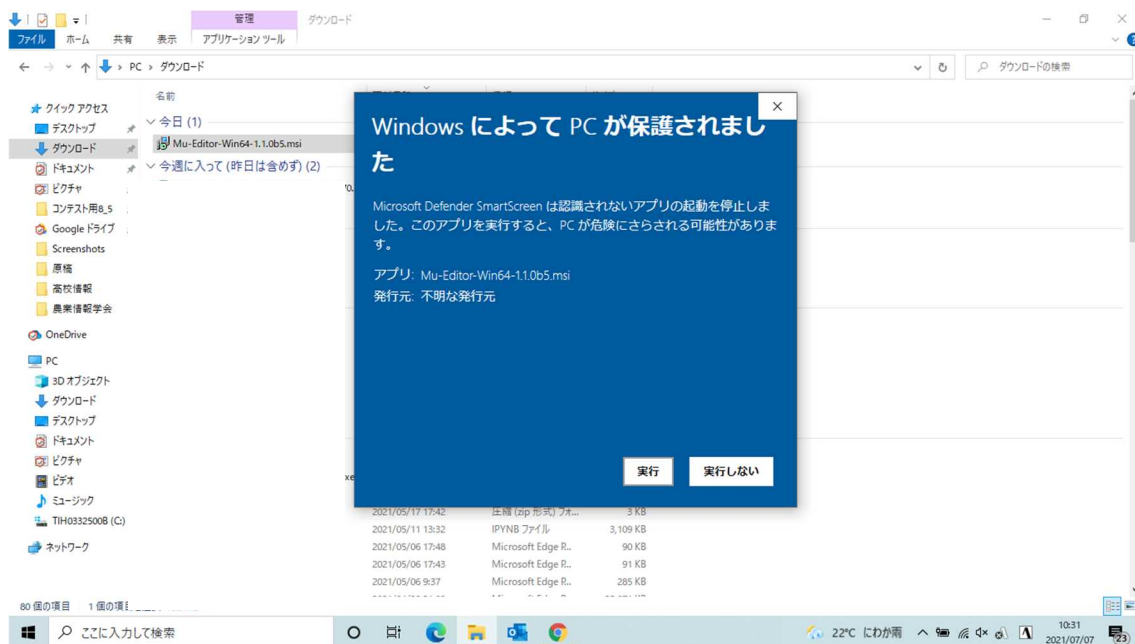
PC のダウンロードフォルダーにインストーラがダウンロードされていると思います。



インストーラをダブルクリックすると下の画面になると思います。
ここで詳細情報をクリックしてください。

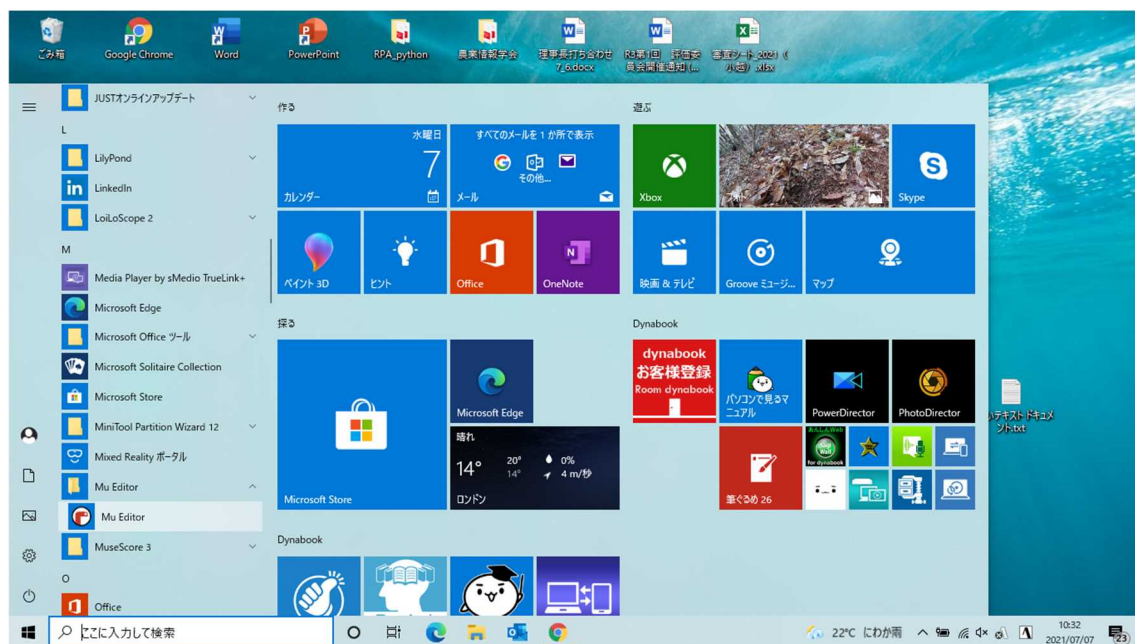


するとこの画面が表示されますので、実行をクリックしてください。
これで Mu のインストールは終了です。

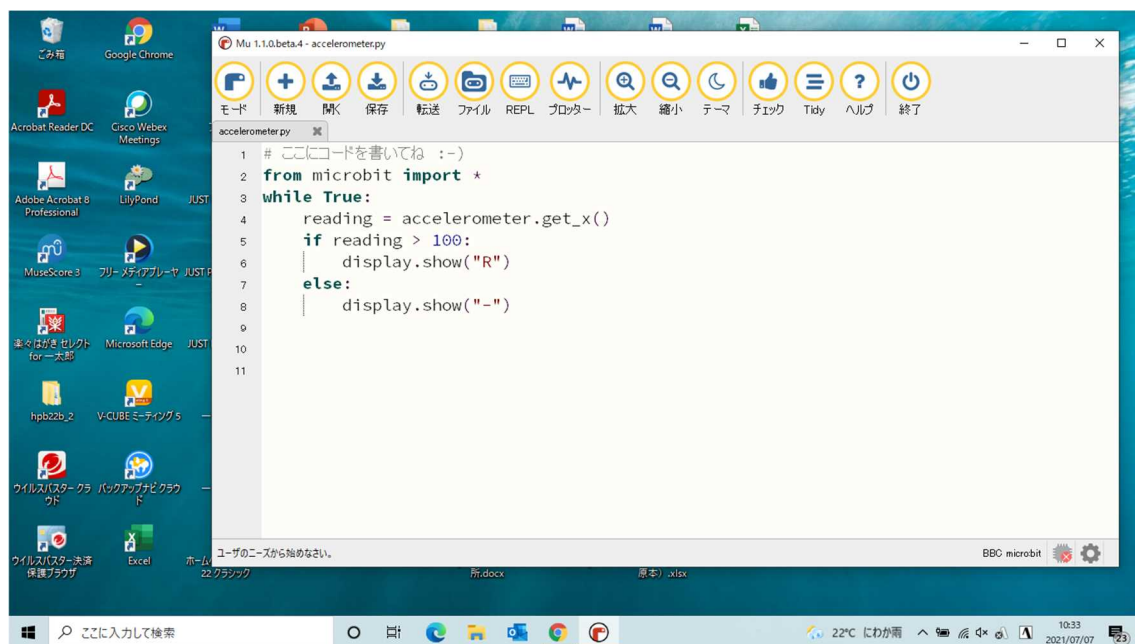


2. Mu の使用法 (micro:bit と PC を BNC ケーブルで接続してください)

Windows のスタートボタンをクリックし、Mu Editor をクリックすると下記の画面となります。ここで赤い色の Mu Editor をクリックすると次の画面が表示されます。



これで、Mu が使えます。ここにプログラムを書き、転送すると micro:bit が転送したプログラムで動作します。



既にプログラムが作成済みでそれを Mu に取り込み転送する場合は、「開く」をクリックし PC のファイルの置かれているディレクトリに移動し、そのファイルをダブルクリックします（下図は katamuki.py をダブルクリックした時の表示）。次に「転送」をクリックすれば micro:bit に転送され動きます。

